

● 草の根パートナー型

パートナー型フォローアップ案件

I. 事業の概要	
1. 対象国名	中華人民共和国
2. 事業名	中国・内モンゴル自治区アラシャン左旗における農牧民灌木植栽専業合作社の支援事業
3. 事業の背景と必要性	<p>事業実施予定地域のアラシャン左旗バロンベリ鎮において、過度な放牧と伐採、無秩序な開発によって、草原の退化と砂漠化が大きく加速された。草原の退化は砂漠化のテンポを速めた同時に、土地の砂漠化が新たな草原の退化という悪循環が続いている。また、四十年間にも及ぶ地下水の抽出利用により、バロンベリ鎮の井戸水灌漑区の地下水は平均で4m下がりを、限りある地下水資源はもはや伝統的な耕作様式の生産用水を負担できなくなり、生産方式の転換と、積極的に節水農業と生態農業の確立と発展は現実的な課題となっている。</p> <p>先行パートナー型事業は灌木種子採種を初めとし、地域の生態環境の改善と周辺農牧民の生活向上に成果を挙げてきた。しかし、「包む会」団体の継続的な関与を前提とする農牧民種子採種団体の運営は、農牧民の積極性と自主性が損なわれ、事業の拡大と普及にも制限される。農牧民の受動的な参加から主体的な経営に、公益法人的な組織から経営法人の合作社に、単純な灌木種子採種からより総合的な生態農業への転換が求められている。</p>
4. 事業の目的	先行パートナー型事業のフォローアップとして、農牧民合作社の設立とサポートを行い、世帯家族を単位とする単独の生産方式から合作社を単位とする協働の生産方式へ、資源搾取型の耕作と放牧の伝統農業から生態保護型の総合的な生態農業への転換を図り、持続可能な地域生態環境の改善と農牧民の生活向上を図る。
5. 対象地域	中国内モンゴル自治区アラシャン盟アラシャン左旗
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	<p><合作社の設立> 入社農牧民 200世帯約1000人 <合作社の経営基盤の強化> 入社農牧民 200世帯約1000人 <合作社のマネジメント能力研修> アラシャン盟農牧民 約5万人 <基礎調査とデータベースの構築> アラシャン盟住民全体約21万人</p>
7. 活動及び期待される成果	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 農牧民を主体とする灌木植栽専業合作社の法人化 2. 農牧民灌木植栽専業合作社の経営基盤の強化 3. 農牧民灌木植栽専業合作社の運営マネジメント能力の向上 4. 生態環境の基礎調査と研究による技術サポート体制の構築 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 農牧民の自由意志に基づく専業合作社の設立、管理制度の構築及びトータルサポートの実施により、伝統農業から生態農業への転換を図る。 2. 入社農牧民の土地使用権の転換を前提に、育苗苗圃と灌木植栽を起点とする「四位一体」の現代生態農業のモデルの整備を行う。 3. マネジメント能力研修、意識と技能研修及び研修成果のモニタリング活動を行う。 4. 基礎調査研究活動を通じて、地域生態環境のデータベースを構築し、よりの確な技術サポートと情報サービスを提供する。
8. 実施期間	平成23年4月～24年10月（1年7か月）
9. 事業費概算額	20,832千円
10. 事業の実施体制	<p>日本側：プロジェクトマネージャー1名、現地調整員1名、現地業務補助員4名 中国側：トータルサポートセンタースタッフ2名</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	NPO法人世界の砂漠を緑で包む会
2. 活動内容	砂漠化防止のための造林緑化、調査研究、農牧民研修、環境教育と国際交流活動
3. 対象国との関係、協力実績	1998年より内モンゴル自治区アラシャン盟において植林活動を開始。2005年からは草の根技術協力事業の支援型（2005-2007）、パートナー型（2007-2010）、包括型（2010-2011）を実施し、砂漠化防止と農牧民の生計向上に貢献した。